

- 自動走行を含むITSを巡っては、**大きなイノベーションの変化**の中にあり、**競争環境は刻々変化**。
- 最新の状況を踏まえつつ国家ITS戦略を推進するため、**昨年策定した官民ITS構想・ロードマップ(※)**を改定し、引き続き、世界最先端のITSの構築、自動走行に係るイノベーションの世界の中心地となることを目指す。

※「原則毎年PDCAサイクルを通じて見直しを行い、必要に応じて本ロードマップの修正を行う」との記載を踏まえ、今回改定。

<ITSを巡る環境の変化>

自動走行の開発競争の激化

- 世界の各社（IT企業・ベンチャー含む）が、次々と**自動走行システム**の野心的な開発計画を発表。
- 世界的な制度改正に向けた動き（ジュネーブ条約等）

⇒我が国が狙うべき自動走行システムの明確化の必要性
⇒国際的動きに対応した国内での導入促進等に向けた取組の必要性

IoT化、AI化等の技術の進展

- IoT化の進展による**データの流通構造の変化**
- 自動走行における「IT・データ」の重要性の高まり（AI化、地図情報基盤等）
- サイバーセキュリティへの対応

⇒交通データの利活用に係る戦略の必要性
⇒技術進展を見据えた**技術戦略**の必要性

<官民ITS構想・ロードマップ2015のポイント（主な改定・追加点）>

<自動走行システム戦略>

- ✓ **当面開発普及を目指す具体像の明確化**
・それぞれ普及・技術戦略を明記（例）

- ① グローバル市場での国際競争力強化に資する自動走行システム
- ② 自動走行機能付き地域公共交通システム
- ③ 地域コミュニティ向け小型自動走行システム

※市場化期待時期：今後見直しを検討

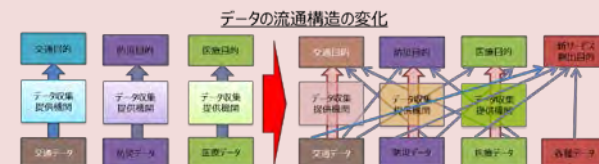
- ✓ **技術の進展等を踏まえた技術戦略**
・国（SIP等）の研究開発推進とマネジメント
・AI化を踏まえた産学官連携・人材確保、アワード型手法の検討等
・サイバーセキュリティ対応
- ✓ **制度面、社会受容面での更なる取組**
・国際条約対応、HMI研究、社会受容面の強化



<交通データ利活用戦略>

※全面的に書き直し

- ✓ **データ流通構造の変化と基本方針**
・標準・ルールの整備、オープン化の検討



- ✓ **当面進めるべき具体的取組**

- ① **地図上への重ね合わせと高度化**
※地図情報基盤（ダイナミック・マップ）の研究開発
- ② **自動車関連データ等の共有化、利活用**
※プローブデータ等に係る官民情報連携の推進
※自動車関連情報の利活用
- ③ **ビッグデータの各種政策等への活用**
※地方創生その他各種課題の解決

<世界最先端ITSに向けた横断的取組>

国際連携とリーダーシップ

- ✓ 国際中核拠点と社会実証プロジェクトの検討
- ✓ 世界への情報発信

東京オリパラに向けて

- ✓ 次世代都市交通システム（ART）の開発・導入
- ✓ その他改革2020に基づく取組

地域での取組・市民参加

- ✓ 国家戦略特区における近未来技術実証に関する取組等の推進
- ✓ 積極的かつ安全な公道実証のための環境整備